

<http://www.okinawatimes.co.jp/day/200401311700.html>

沖縄タイムス<2004年1月31日 夕刊 5面>

出漁前の男性漁港内で死亡／泡瀬、船で就寝

三十日午前五時五十分ごろ、沖縄市泡瀬の泡瀬漁港で、同市海邦町の漁業、筋和義さん（54）が、漁船の停泊用ロープにしがみついた状態で海面に浮いているのを同僚の漁師（55）が見つけた消防に通報した。心肺停止だった筋さんは約四十分後、搬送先の病院で死亡が確認された。

同署によると、筋さんは三十日早朝、遺体を発見した同僚の漁師と一緒に漁に向かう予定だった。同日午前零時ごろ、「船で寝る」と家族に伝え自宅を出たという。漁船は係留され、筋さんの遺体に外傷や衣服の乱れはなかった。

亡くなった筋さんは千葉県出身。復帰直後から漁業者の立場で赤土問題に取り組み、県の赤土等流出防止対策作業部会の部会長を務めたこともある。

本島北部の林道工事をめぐる「やんばる訴訟」に、筋さんとともに原告として加わった「やんばるの自然を歩む会」の玉城長正会長は「筋さんは情熱家。陸上からの海の汚染、破壊に心を痛め、沖縄のサンゴの海、素晴らしい自然を残そうと、裁判で頑張ってきた。沖縄の自然環境を守る指導者が失われ、大変残念だ」と話した。